



さ ら ん べ

# 砂蘭部



北海道八雲養護学校  
令和2年度 学校便り 第2号  
令和2年 7月27日(月)発行

題字イラストは児童生徒が作成しました。

北海道八雲養護学校は、独立行政法人国立病院機構八雲病院に隣接した、病弱の児童生徒を主に教育する特別支援学校です。

## こころ、すこやかに、たおやかに

～八雲養護学校を支えてくださり、ありがとうございました～

校長 鎌田 典子

令和2年度の1学期が終了いたしました。私にとっては、経験したことのない思いを抱きながら迎える終業式となりました。本校が、「八雲養護学校」として、この八雲町で、この校舎で、迎える終業式は本日で最後となります。

私ごとにはなりますが、平成28・29年度に本校校長として赴任をし、当時に具体的に動き始めた移転業務に携わりました。新校舎の設計などの作業を行いつつ、教育に係わる他の移転までの作業スケジュールを立てながらも、まだまだ先の感もありました。現在、札幌及び函館への機能の移転を目前に控え、年月の流れの速さを実感しているところです。

私たちの生活様式は、コロナ感染症対策ですでに変わっています。学校の移転はすでに決まっていたことではありますが、奇しくも時期を同じくし重ねて生活や学習環境の変化が伴う状況となっています。未経験のことに向き合うこと、新しい人間関係や変わりゆく環境に対応し自分を変化させることは勇気と気力があることですが、成長過程にある子どもたちには、きっとその力があると思っていますし、その学びのために私たち教職員も力を合わせていきたいと考えています。

8月1日から、本校は校名が「北海道八雲養護学校」から「北海道手稲養護学校三角山分校」に変わります。新しい校章には、八雲町を雲で象徴させデザインの中に取り入れてあります。本校が地域の皆様に支えられながら、この八雲町の地で培ってきた力と育んできた文化を礎に、続く本校の教育活動を、札幌の地において更に新しい時代に生きる新しい教育として築きあげていければと思っております。

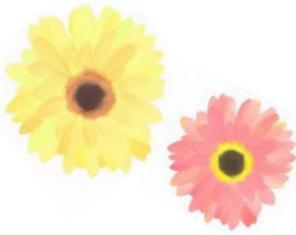
2学期以降は、子どもたちは札幌と函館に学校が分かれますが、それぞれの子どもたちが、学校生活も、学校を取り巻く環境や地域も、そしてこれから生きる時代も変わっていく中で、内面から健やかに逞しくたおやかに自己を変化、成長させ豊かな人間性を育んでいけることを願い、私たち教職員も尽力していきたいと思えます。

函館に転校する生徒の皆さんは、いつまでも互いに応援している仲間であることを忘れずにいてください。札幌に移動する生徒の皆さんは、また新しい校舎で元気に2学期お会いしましょう。

保護者の皆様と八雲病院の皆様には、今後ともに本校の教育活動に変わらぬご協力とお力添えをいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

最後に、八雲養護学校の前身として、昭和32年の八雲小・中学校特殊学級「ひまわり学院」（通称）として発足以来63年間、本校と子どもたちを支え育ててくださった後援会の皆様をはじめ、地域の皆様及び関係する皆様には、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。





## 八雲町に支えられて

北海道八雲養護学校 PTA 会長

山本 和孝

北海道にもやっと夏らしい日差しが出てきました。今年は、新学期早々から臨時休業が続き、6月からやっと学校再開となりました。新型コロナウイルス感染症、東京オリンピックの延期、緊急事態宣言における外出禁止など我々にとっても初めての経験となることばかりでした。保護者の皆さんも、病院で面会をすることができなく、お子さんと会うことができなくさみしい思いをされていることと思います。早く元の生活に戻り、子どもたちと会える日が来ることを心から願っています。

いよいよ7月になり、八雲から離れる日が近づいてきました。病院では、患者さんの輸送訓練を行い、札幌では、新しい校舎がほぼ完成したと聞きました。新しい病院、学校本当に楽しみにしております。無事に移転が完了し、札幌での新たな生活を始めてほしいと思います。

最後に、保護者を代表としてお世話になった八雲町の方々に感謝の気持ちをお伝えします。八雲養護学校がこの八雲町にいた63年間、本当に多くの方々に支えられ、励まされながら今日まで頑張ってくることができました。今まで卒業された多くの先輩方、そして現在在籍している生徒12名。八雲町での多くの思い出と人との関わりが、一人の人間として大きく成長させていただいたと思います。本当にありがとうございました。



## 八雲養護学校移転にあたって

八雲養護学校公立病院後援会

会長 大久保建一

まさかこんな日が、こんなにも早く来るとは思っていませんでした。

平成24年度に川合幸治前会長から会長職を引き継ぎ、9年間、会の運営をさせていただきました。

その間、高齢化していた会員や理事を刷新し、学校と普段から取引のある法人や各町内会にも会員となってもらい、広く地域と学校を繋ぐ会の運営を心掛けてきました。

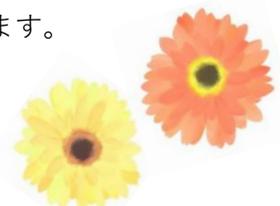
後援会の活動は、修学旅行帯同者への補助や卒業記念品の寄贈、学校行事への協力、会員企業への就業体験（掲示物作成）など、そのどれもが有意義なものであったと自負しております。

八雲養護学校後援会は平成31年度をもって解散いたしました。これまで協力していただきました会員の皆様に、改めてお礼申し上げます。

また、後援会の運営をサポートしてくれた歴任教職員の皆様にも深く感謝申し上げます。

学校を応援してきた私たちにとって、学校の移転はとても残念なことでありますが、生徒たちにはどこに行っても「強く楽しく学ぶ心を忘れずに」新生活を送っていただきたいと思っています。

今後の皆様のご健勝を陰ながら、心よりご祈念いたします。



八雲町の方々へ御礼

拝啓

盛夏の候 海や山からの夏の便りが相次いでおりますがいかがお過ごしでしょうか。

さて私たちこと、

このたび国立病院機構八雲病院の札幌移転に伴い、北海道八雲養護学校も令和2年7月末をもちまして札幌へ移転することになりました。

私個人においては、平成30年度から約2年半、プール学習や就労体験学習などで八雲町の皆様にご協力いただき、安心して学習に取り組めたこと、心より御礼申し上げます。

八雲町で学んだことを生かし、これからも新転地にて精進してきたいと思っておりますので応援のほどよろしく願いいたします。

敬具

令和2年7月吉日

北海道八雲養護学校 生徒代表



絵：高等部 尾崎翔平

### 三角山分校の校章が決まりました

昨年度の就労体験学習でデザインの原案を4名の生徒に考えてもらい、今年度3つのデザイン案から生徒、教員全校での投票をしました。投票結果を経て調整し、三角山分校の校章が完成しました。

#### 【デザインの意味】

- ・三角形は札幌市西区のシンボルでもあり、校名でもある三角山を表している。
- ・三角形の頂点と星形のように横に飛び出ている頂点は、イメージシンボルの「5つの光」を表している。
- ・中央に位置している「E」に関しては、スクールイメージの永遠（eternal）に輝く笑顔と友情と、これから始まる新しい学校で、児童生徒は、毎日（every day）楽しい（enjoy）経験（experience）を積み上げ、教職員は、病弱特別支援学校の中心校としての教育（education）の向上（elevation）を常に目指すという思いが込められている。
- ・両脇の二本の柱は、北海道教育の理念「自立と共生」を表す。
- ・雲の形は、63年間の八雲町での教育を礎としていることを表現している。

（担当：三条）



作成者

デザイン原案：尾崎翔平・松本慶太・高橋雄希・伊藤聖矢・佐橋正智

作成：北海道八雲養護学校一同

監修：三条真知子・鎌田典子

# 八雲養護学校の思い出

～ありがとう八雲養護学校～



そうかーにーいっ  
てかーにーいっ  
まーさかーなっ  
の  
中学部3年

体育の授業が  
楽しかったです。  
中学部1年

体育祭  
で皆とかがか  
けて  
最後までか  
けることができた。  
中学部3年

体育祭で  
カーリングをしたのが  
一番の思い出です  
中学部2年



音楽の授業でいろ  
んな楽器を演奏したよ。  
中学部2年



学校祭で発表を  
がんばったよ☆  
中学部3年

入学した時は、  
高等部のみんなと仲良  
なれるか心配だったけれ  
ど仲良くなったこと。  
高等部1年

見学旅行で  
青森に行き金魚ねふた  
をつかったことか  
楽しかった  
高等部1年

見学旅行で東京に行  
って、国立科学博物館  
で恐竜博をみたこ  
と。  




見学旅行で  
東京に行って  
恐竜の化石とXIDさんを  
見たこと  
高等部3年

見学旅行で  
東京スカイツリーに  
行ったこと  
高等部3年

みんなで行った  
見学旅行  
高等部3年



## 三角山分校新校舎を紹介します

8月から運用開始となる新校舎の紹介をします。

新築された北海道医療センター西館の半分を、三角山分校と市立札幌山の手支援学校で共有します。1階に両校事務室、2階は山の手普通教室、3階に特別教室等及び体育館への渡り廊下、4階は両校職員室、5階が三角山分校の教室となります。校舎南側の窓からは、分校名の由来となった三角山が間近に見えます。

コロナ渦の中の移転ではありますが、変化はチャンスであると前向きに捉え、両校の伝統や特徴を生かした教育活動に取り組んでいきたいと思っております。(移転業務担当：森屋)

新校舎住所 〒063-0005 札幌市西区山の手5条8丁目1番38号

電話番号 011-633-3020

FAX番号 011-633-3023

アドレス sankakuyama-z0@hokkaido-c.ed.jp



### ～八雲養護学校をお支えいただき、心より感謝申し上げます～

伊勢屋 上野商店 エネック 大岩工業 海宝寿し 川合精肉店 クレールいとう GETUP 河野薬局  
 国立病院機構八雲病院 国立病院機構八雲病院売店 航空自衛隊八雲分屯基地 後藤電機商会  
 コミュニティホール八雲 佐藤エネルギー八雲営業所 ジェーシー・コムサ (ハーベスター八雲)  
 すずき金物 大黒屋 (ロッキー八雲店) 高木商店 高木水産 高見食堂 デザイン工房ねむの木  
 童話サークルぴいたあ★ぱん どどん鼓座 中村タイヤ 服部醸造  
 福祉輸送・患者等搬送事業合同会社キャンタク 藤本自動車工業 古谷精肉店  
 北海道区水産研究所八雲さけます事業所 まるみ商事 (まるみ食堂) 焼肉みよし 八雲運輸商事  
 八雲高等学校 ヤクモ歯科クリニック 八雲シンフォニー 八雲町 八雲町かたばみ友の会  
 八雲町木彫り熊資料館 八雲町給食センター 八雲町教育委員会 八雲町郷土資料館 八雲町警察署  
 八雲町子ども発達支援センター 八雲町消防署 八雲町地域おこし協力隊 八雲町保健福祉課  
 八雲町立図書館 八雲町立野田生中学校 八雲町立プール 八雲町立八雲小学校 八雲町立八雲中学校  
 八雲町立山崎小学校 八雲ハイヤー やまびこ事務所 ヨシムラ (セイコーマートよしむら)  
 渡辺タイヤ工業所 本校開設以来 63 年間に渡りお支えいただいた全ての方々

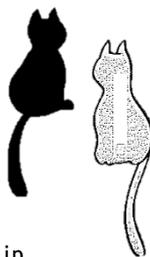
(五十音順。敬称を略させていただいております。御芳名に謝り等があれば

御容赦願います。)

#### 北海道八雲養護学校

～日々の様子などをウェブページで発信しています～

八雲養護 検索



〒049-3116 二海郡八雲町宮園町 128

電話 0137-62-3670 FAX 0137-62-3427

学校代表メール yakumoyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp

学校ウェブページ <http://www.yakumoyougo.hokkaido-c.ed.jp>

★8月1日より新しいウェブページに変わりますが、今までのウェブページからも入れます。

#### 北海道教育委員会 子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

電話相談 0120-3882-56  
(無料、毎日24時間対応)

※子どもたちだけではなく、保護者の方も利用できます。